

県立図書館利用の Q & A

Q 沖縄県立図書館はどんな人が利用できるの？

A 県立図書館は研究者や学校の先生が行くところ...と思っている方がいらっしゃいます。県立図書館は県民ならどなたでも利用できる公共図書館です。図書資料の閲覧だけなら、県外、国外から旅行で来た方も利用可能です。

Q 沖縄県立図書館の利用カードを作りたい！

A 利用カードを新規に作成される場合は、申請書に必要事項を記入の上、身分証明書（免許書・保険証・マイナンバーカード等）をご提示いただければすぐにお作りすることができます。

なお、カードを作成できる方は、次の要件を満たされる方です。

- 沖縄県内に現住所を有する方（0歳からカード作成できます。）
- 沖縄県内に一ヶ月以上滞在予定の方（滞在を証明していただくものが必要です。）



利用カード

Q 旧館で作ったカードは使えるの？

A ご利用頂けます。ただし、カードの有効期間は1年間ですので、更新のお手続きが必要になるかもしれません。更新のお手続きの際は、現住所が確認できるものをご提示いただいています。

Q 本は何冊まで借りられるの？ また、どれくらいの期間、借りられるの？

A お一人10冊までご利用可能です。貸出期間は、2週間となっています。また、便利な貸出延長サービスもあります。ただし、借りている本に延滞がなく延長したい本に他の利用者の方から予約が入っていない場合に利用いただけます。なお、雑誌の貸出は行なっておりませんのでご了承ください。

Q 住んでいる町の図書館に県立図書館の本を返していいですか？

A 県立図書館からお借りになった本は県立図書館に返却をお願いしていますが、名護市立中央図書館（遠隔地返却）でも返却できます。その際はカウンター職員に必ず手渡して返却をお願いいたします。

Q 図書館の中で、食べ物を食べたり、飲み物を飲んだりしてもいいの？

A 館内での飲食はご遠慮いただいておりますが、エントランスホールは飲食可能エリアとなっています。また、お飲み物については、ペットボトルや水筒など倒れても飲み物がこぼれない容器に入った飲み物でしたら館内（郷土資料室を除く）に持ち込んでいただけます。



エントランスホール

Q どうして、館内での飲食は認めないの？

A 飲みこぼしによる水濡れ、食べカスによる汚れから大切な図書館資料を守るためです。水濡れは本のカビの原因、汚れは虫による虫食いの原因になります。大切な図書館資料を保存するために必要な対策ですので、ご協力ください。



沖縄県立図書館

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-20-1 カフーナ旭橋A街区

TEL.098-894-5858 (代表)

TEL.098-894-5881 (レファレンス用)

TEL.098-894-7087 (広域サービス室) FAX.098-861-7111

開館時間 9:00~20:00

休館日 毎週火曜日/年末年始 特別資料整理期間(年20日程度)

当館ホームページ

<https://www.library.pref.okinawa.jp/>

Facebook



twitter



「琉球・沖縄の知と心 文化創造のランドマーク」
新沖縄県立図書館が開館



沖縄県立図書館は、明治43年8月1日の開館以来、多くの県民に活用されてきましたが、時代の変化に伴い利用者が図書館に求めるサービスは多様化・専門化してきました。このような状況の下、県教育委員会では、諮問機関による「知の拠点としての図書館の果たすべき役割」についての提言を踏まえ平成26年1月、「県立図書館の移転及び整備に向けた基本方針」を定めました。新県立図書館は、構想からおよそ5年を経て平成30年12月に複合施設カフーナ旭橋A街区内にオープンしました。

新しい図書館は、どんな風に変わったの？

● 人と本との出会い、交流の場として
読書の機会の提供だけでなく、情報発信の場となり、県民が集い交流の場となることをめざし、新館には、多目的ホール、交流ルーム及び展示コーナーが設置されています。
ここでは、図書館の企画展示のほか関係団体と協力して本に関わる展示やイベントを行っています。
開館時には当館が所蔵する貴重資料を展示し、多くの方々にご覧いただきました。



おはなしの森



ラウンジ

● 開放感に溢れる図書館
新館は、旧館のおよそ2倍の広さとなり、利用者の利用目的に合わせてフロア構成となっています。
3階は子どもの本や子育てに関する本が並び、子どもと大人が一緒に読書を楽しみ、学ぶことができるフロアとなっています。



交流ルーム



多文化資料エリア



一般資料エリア

4階は、県立図書館で最も大きなフロアで、一般図書をはじめ、健康・医療、新聞、雑誌など県民生活に密着した本が並んでいます。
また、同フロア内のビジネスエリアには、幅広い分野のビジネス関連資料が揃い、ビジネスにおける課題解決を支援します。
そのほかに、アメリカ情報コーナー、上海ウィンドウ、韓国語の資料を展示するコーナーなど外国語の資料を集めた多文化資料エリアが新設され、国際色豊かな図書館となっています。



自動化書庫

● 利便性が向上しました。
50万冊の収蔵能力を持つ自動化書庫の導入により、新館の蔵書収蔵能力は将来的な書架の増設分を含めると旧館の約3倍となります。
また、セルフ式の予約本受取コーナー、貸出機、返却機などを整備し貸出機の手続きの簡素化やプライバシーに配慮した図書館となっています。
新館の開館時間は20時までとなり、土日・祝日も開館していますので、お仕事帰りやご家族でのご利用も便利になりました。

5階は、琉球・沖縄関係資料に特化したフロアとなっています。
県立図書館の所蔵資料のおよそ3分の1は郷土資料となっており、図書資料の他、新聞資料、地図資料、行政資料など一般の流通ルートには乗らない貴重な資料も多く、調査・研究の場としてご利用いただけます。
新館には、貴重な郷土資料を保存、継承するために特別収蔵庫を設置しています。
市町村史・字誌コーナー



市町村史・字誌コーナー